

親子で土木の現場めぐりバスツアー開催報告

イベントレポート

2014年7月31日 9:00～18:00

土木学会北海道支部では、皆さんに「土木」のことをより知っていただくため、「親子で土木の現場めぐりバスツアー」を毎年夏休みに実施しています。

今年は、「生活に必要な不可欠な施設」をテーマに白川浄水場 送水管新設工事（札幌市）、定山溪ダム（北海道開発局）、北海道横断自動車道 余市～小樽間建設工事（NEXCO）を見学しました。

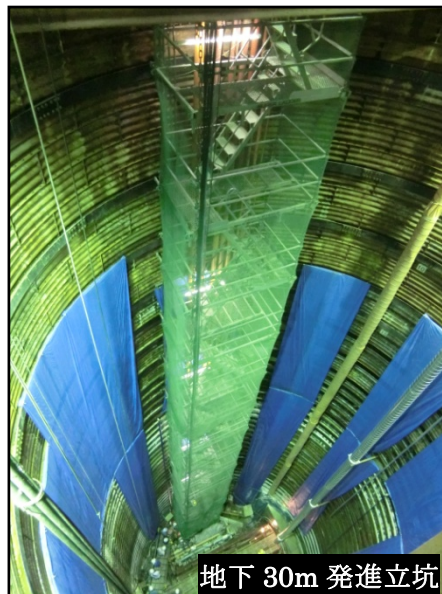
今年は土木学会創立 100 周年記念事業関連としてバス 2 台体制での実施が可能となり、参加者 54 名（22 組の親子）と事務局 5 名の計 59 名で実施することができました。

リピーターの親子も何組か参加されており、この取り組みも、かなり浸透してきた感じを受けました。

最初の見学現場「白川浄水場 送水管新設工事」では、担当者より工事の概要説明を受け、その後「DVD によるシールド工事説明・中央制御室見学班」、「泥水処分施設見学班」、「掘削現場見学班」の 3 班に分かれてローテーションにより見学させていただきました。



工事の概要説明



地下 30m 発進立坑



中央制御室見学



シールド入口

特に掘削現場は地下 30m で掘削を行っているため、およそビル 10 階分に相当する階段の昇降が必要でしたが、普段は見ることのできない現場と言うこともあり、参加者全員が見学しました。

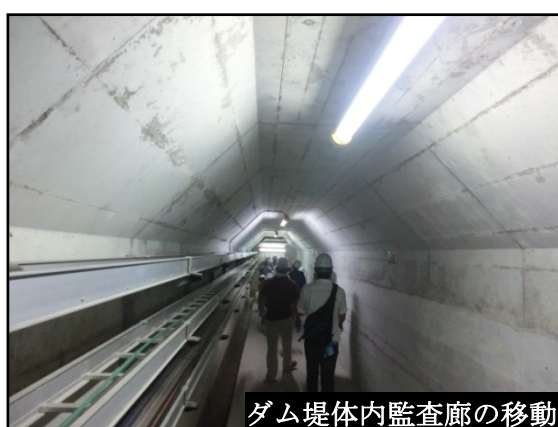
2 番目の見学現場「定山溪ダム」では、ダムの堤頂を移動し、展望台にて担当者より定山溪ダムが持つ役割（洪水調節、水道用水供給、水力発電）や、ダムやダム湖（さっぽろ湖）の大きさ等、概要説明を受けました。

特に、ダムから豊平川へ供給した水を白川浄水場で取水し、そこで飲むことができるよう処理した水が 1 番目に見学した現場の送水管を流れる事に関心を寄せていました。

また、普段は見学できないクレストゲート室の見学、その後、ダムの監査廊を移動してダム操作室の見学をさせていただき貴重な体験ができました。



ダムの概要説明



ダム堤体内監査廊の移動

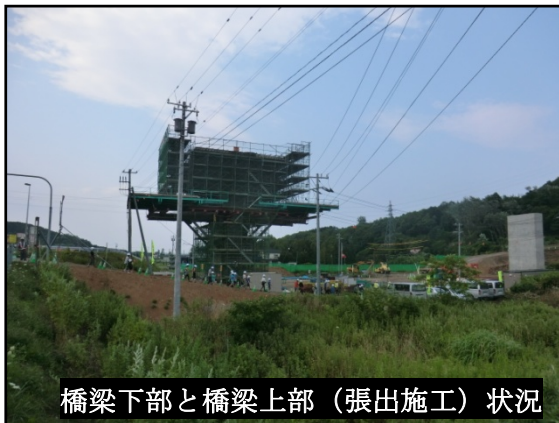


クレストゲート室見学



ダム操作室見学

3 番目の見学現場「北海道横断自動車道 余市～小樽間建設工事」では、担当者より工事の概要説明を受け、フゴッペ川橋の橋梁下部工及び橋梁上部工（張出施工）を見学させていただきました。子供たちはピアノ線（PC 鋼より線）に興味津々で、手に取り確認していました。また熱心にメモを取っている姿も見られました。



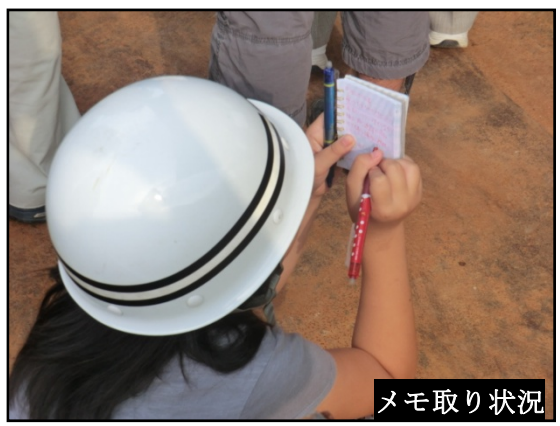
橋梁下部と橋梁上部（張出施工）状況



工事の概要説明



ピアノ線確認状況



メモ取り状況

どの現場も普段はなかなか見ることができないこともあり、参加者は熱心に見学されていました。

また、現地では今回の「親子で土木の現場めぐりバスツアー」に参加して良かったと言う声もいただき、見学実施後のアンケートでも、今後も見学会に参加したいという回答が91%と、大多数の方が土木の現場に興味を持って頂いていることがわかりました。

今後も土木のことを知ってもらう啓発手段の1つとして、続けて行きたいと思いました。



参加者全員による集合写真
定山溪ダム管理支所屋上より

北海道支部
見学担当チーフ
森田共胤